

平成21年度一般会計歳入歳出決算の認定について

平成22年8月30日の本会議において、決算特別委員会に付託し審査を行いました。第3回定例会では、平成22年9月27日、28日、29日、30日、10月1日及び4日の計6回にわたり、委員会を開催しました。

委員会では、市民交流センター関連の質疑が行われ、特別会計の決算認定の議案6件も含めて、継続審査することとなり、閉会中の11月17日も委員会を開催し審査を行いました。

一般会計の平成21年度決算額は、歳入総額が388億1千199万5千円で前年度対比0.3%増加しました。また、歳出総額は、372億3千162万4千円で前年度との対比で3.8%増加しました。

歳入面では、固定資産税が前年度の収入実績を上回ったことなどにより、市税収入が199億4千65万5千円と前年度比で0.2%増加しました。

一方、歳出面では、武蔵小金井駅南口再開発事業の関連経費などの減少により、投資的経費は前年度との対比で約7億9千万円減少しました。

また、積立金では、財政調整基金や環境基金などへ約12億2千万円を積み立てました。11月30日の本会議では、採決の結果、起立多数により認定しました。

賛成討論(要旨)

青木ひかる(みどり・市民)

第一に、市民交流センターを購入することを前提とした予算執行がなされた。第二に、

前年度に続き新ごみ処理施設の建設場所を確定できなかった。第三に、年間の予算執行が計画的に行われていない。第四に、行革の分野で市民参加をないがしろにする対応が行われた。よって反対する。

賛成討論(要旨)

紀 由紀子(公明党)

賛成の理由は①市民サービス向上のため行革を推進し、人件費比率が20.1%と低下②妊婦健診を14回に拡充や女性特有のがん無料クーポン券の実施等の健康施策の拡充③環境対策・都市基盤の充実④農業振興や商業振興⑤芸術文化の振興や教育の拡充(地デジ対応等)。よって賛成する。

反対討論(要旨)

森戸洋子(日本共産党)

以下の点で決算に反対する。①市民の生活が厳しいにもかかわらず、市民生活支援が不十分。②新ごみ処理施設建設問題について対応が不十分。③市民を犠牲にする問題だらけの市民交流センター開設準備費用が含まれている。④図書館、学童保育の委託化を強引に進めようとしたことなど。

賛成討論(要旨)

中根三枝(自民党小金井)

平成21年度実質収支は約15億4千500万円で4年連続10億円を超過。単年度財政は良好である。人件費比率は3年連続ベスト数値を更新し20.1%となる。行財政改革では住宅手当の引下げ、業務委託指定管理者制度導入等の努力は見られるが、まだ道半ばであることを指摘し、賛成する。

議案の審議結果

付託先略称 即：委員会付託を省略し本会議で採決 総：総務企画委員会 厚：厚生文教委員会 建：建設環境委員会 予：予算特別委員会 決：決算特別委員会

Table with columns: 付託先, 賛成, 反対, 退席, 議決結果. Rows include items like '平成21年度一般会計歳入歳出決算の認定について' and '平成22年度一般会計補正予算(第4回)'.

議案などの審議結果は、小金井市議会のホームページでも掲載しています。

小金井市議会 検索